

令和7年9月12日

報道機関各位

熊本大学

**熊大ワクワク連続講義 “令和7年度 サテライト  
プログラム（荒尾・玉名地区）” 受講生募集！**

熊本大学では、高校生等が将来の夢を育み、大きな希望にあふれて勉強する助けとなることを願いつつ、令和7年度も“熊大ワクワク連続講義”を開講し、熊本県内各地域にサテライト会場を設け講義を実施してきましたが、今年度最後のプログラムとしまして、荒尾・玉名地区のサテライト会場で講義を実施いたします。

今回の講義は、「薬学部」と、来年4月に開設が決定しております「共創学環」の講義を実施します。熊本大学を代表する教員達が、自らの研究を始めた動機や研究の内容、抱く夢について熱くやさしく語り、またそれぞれの研究と高校の学習との関連についても説明します。きっと、思いがけない発見に驚き、かつ知的好奇心が刺激されて、心はワクワクすることでしょう。

一連の講義を聴いて、学問研究のおもしろさに目覚め、学ぶ意欲に火がつくことを願っています。そして、自身の将来の夢を大きく描き、夢の実現に向けて進んでくれることを期待します。

荒尾・玉名地区以外の高校生も、下記申し込みフォームよりお申込みいただくことでご参加いただけますので、広く一般の方へお知らせくださいますよう、よろしく願いいたします。

記

【日 時】 令和7年9月27日（土）

1 時限： 9:00～10:30 講師：平野順也先生（共創学環）

2 時限： 10:50～12:20 講師：加塩麻紀子先生（薬学部）

【場 所】 玉名市民会館マルチホール（熊本県玉名市岩崎 88-5）

【対 象】 高校生等、高校教員

【参加費】 無料

【申込方法】 荒尾・玉名地区の高校生は所属高校へ、荒尾・玉名地区の高校生以外の方は以下、申込フォームより希望する講義を選択し、お申込みください。

〔申込フォーム〕 <https://forms.gle/Gysy93bibpYFNjUr9>

【申込締め切り】 令和7年9月24日（水）

※詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。

[https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/koudairenkei/wakuwaku\\_kougi/R7wakuwaku-araotamana-event](https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/koudairenkei/wakuwaku_kougi/R7wakuwaku-araotamana-event)

【お問い合わせ先】

熊本大学学生支援部入試課

担当：今田、中島

TEL：096-342-2712

# 熊大 ワタワタ 連続講義

= 荒尾・玉名会場 =

【令和7年度サテライトプログラム受講生募集案内】

《開催日時》 **9/27(土)** 9:00~12:20

《開催場所》 玉名市民会館(マルチホール)

《受講対象》 高校生および高校教諭等

※申込〆切：9月24日(水)

時限 (開講時間)	講義タイトル
	担当講師・所属部局
1 限目 (9:00-10:30)	異文化コミュニケーション：カオスと破壊とプーさん裁判  平野 順也 共創学環 教授
2 限目 (10:50-12:20)	私たちはどうやって温度を感じているのか？  加塩 麻紀子 薬学部 准教授



## 《申し込み方法》

荒尾・玉名地区の高校生は所属高校を通してお申し込みください。

荒尾・玉名地区の高校生以外の方は以下、申込フォームより希望する講義を選択し、お申し込みください。

[申込フォーム]

<https://forms.gle/Gysy93bibpYFNjUr9>



※天候等の都合でやむなく中止する際は、ホームページ上でお知らせいたします。必ずご確認ください。

【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室

TEL：096-342-2712

E-mail：gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

《 講義内容 》

1

9月27日(土) 9:00-10:30

平野 順也 共創学環 教授

テーマ：異文化コミュニケーション:カオスと破壊とプーさん裁判

内容：米国の大統領は、女性のスポーツ競技へ、トランスジェンダー女性が参加することを禁止しましたが、皆さんは賛成しますか、それとも反対しますか？グローバル化が進み、多様な歴史、文化、価値に接する機会が増えましたが、同時に色々な問題も生じています。本講義では、プーさんの暴力事件(事実です!)やジェンダー問題などに焦点をあて、異文化コミュニケーションの複雑な様相について学びます。

講師紹介：コミュニケーションは「ことば」の学問です。皆さんは「左」をどう定義しますか？日常的に使っている「ことば」ですが、恥ずかしながら、私はうちの息子(3歳)にうまく説明することができません。こんな掴んでいるようで掴んでいない「ことば」に興味があって、コミュニケーションを研究しています。

関連教科・  
キーワード： 探究学習、グローバル化、ジェンダー

2

9月27日(土) 10:50-12:20

加塩 麻紀子 薬学部 准教授

テーマ：私たちはどうやって温度を感じているのか？

内容：やけどをしそうな高温や低温に手が触れると、痛みを感じ、手を引っ込める反射が起こる。このときには、温度を感じるイオンチャンネルがはたらいている。危険な温度の受容だけでなく、このイオンチャンネルのはたらきにより、暑い日には服を脱ぎ、また無意識に汗をかくことで、体温が一定に保たれる。本講義では、普段意識することのない温度を感じる機能について知ってもらうとともに、様々な生理機能への関わりについても紹介する。

講師紹介：1977年12月宮崎県生まれ。2024年4月より熊本大学生命科学研究部(薬学部)准教授。高校生の頃に研究者への憧れを抱き、薬学部に進学した。現在は、温度センサーとして働くイオンチャンネルが、どうやって調節されているのか？、私たちの体の中でどのような役割を果たしているのか？を明らかにする研究を進めている。

関連教科・  
キーワード： 生物学、イオンチャンネル、体温